



“縁起干支盃”——写真中央の盃を「丑年生まれ」の方に贈呈

今年は「丑年」です

太陰暦で「丑^{うし}の刻」は午前2時ごろでした。今の舞鶴は、JMU最後の新造船船引き渡しの間近になり、また先行きの見えない新型コロナの甚大な影響によって、逼迫する社会経済を「丑の刻」状態—と感じる皆様も多いのではないのでしょうか。しかし真夜中であっても、澄み切った冬空には多くの星が美しくきらめいています。また明けない夜はありません。危機下にこそ、見えるものがあり、やらねばならないこともあるはずです。やがて明るい陽射しが差し込むことでしょう。それぞれが神経を研ぎ澄ませ、英知を結集して「丑年」を乗り切りましょう。

目次

新年のごあいさつ

舞鶴商工会議所 会頭	2
日本商工会議所 会頭	3
舞鶴市長	4
京都府知事	5
舞鶴商工会議所 役員、議員、顧問	6
部会長、委員長、青年部、女性会	7
高浜発電所の稼働へ請願書提出	8
京都府へ商工施策を要望	
春の就職フェア 事業所募集	9
新春経済講演会を開催	10

年頭ごあいさつ

明るい展望を描ける年に

舞鶴商工会議所
会 頭 小 西 剛

明けましておめでとうございます。
令和3年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、2月の「JMUの商船建造からの撤退」発表と、3月から本格化した「新型コロナによる災禍」によって、4月～6月の景況は調査以来の最悪を記録するなど、極めて厳しい経済状況が続きました。また、この間、東京五輪など各種イベントの中止が相次ぎ、45回の節目を迎えていた「みなと舞鶴ちゃったまつり」も開催を諦めざるを得ませんでした。皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛けしました。

今年の経済についても、厳しい見方がされていますが、我々経済人は、どのような場面に遭遇しようとも、事業を継続・発展することが求められています。

JMUの商船建造からの撤退については、日本海側唯一の大型造船所の必要性和、国の方針に沿った洋上風力発電事業など、人材、技術、設備が活きる新分野への事業展開について、府・市と連携し、引き続き、国をはじめ関係機関に働きかけてまいります。

今、私たちは、コロナとの持久戦の中、アフターコロナを見据えた経営に取り組んでいかなければなりません。また、同時に、社会基盤の整備や企業誘致など、稼げるまちづくりへの取り組み、創業や事業承継、身の丈に合ったICTの活用、働き方改革への対応等々、生産性向上への取り組みが必要です。

舞鶴の活性化に直接つながる、道路や港湾、鉄道、治水対策などの基盤整備については、京都舞鶴港の機能強化や高速道路ネットワークとのアクセスに不可欠な臨港道路「上安久線」、国道27号西舞鶴道路の早期完成、さらには、舞鶴若狭自動車道舞鶴西～舞鶴東間

の4車線化優先整備区間への早期選定などの実現を働きかけてまいります。

また、昨年12月、高浜発電所1、2号機の再稼働について、舞鶴市議会に請願を行い採択いただきました。本市産業界は、高効率火力や原子力発電などの「ベースロード電源」を安全に維持管理する役割を果たしており、発電所の存在は、地元経済を大きく支えています。安全性が確認された発電所の稼働については、再生可能エネルギー推進のうえからも、現実的・合理的な選択であると思っております。引き続き、経済の成長を支え国民の生活を守るために、エネルギー政策が正しく実行されるように期待するものであります。

本年は、舞鶴商工会議所は創立から75年の節目です。商工会議所の創始者であり日本近代資本主義の父とされる渋沢栄一翁をモデルとしたNHK大河ドラマ「晴天を衝け」の放送が間もなく始まります。東京オリンピック・パラリンピックも開催への準備が進んでおり、「みなと舞鶴ちゃったまつり」についても実施できればと思っています。社会経済が大きく変容していく中、また、舞鶴の未曾有の経済危機の時において、引き続き、進取の気概を持ち、地域経済発展のため、国・府・市はもとより、関係者の皆さまとともに、何としましてもこの難局を乗り越え、明るい展望を描ける年にしたいと考えております。

本年も、舞鶴商工会議所に対しまして、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、舞鶴のさらなる発展と会員企業のご繁栄、並びに皆様方の益々のご健勝・ご多幸を心からお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2021年 年頭所感

～逆境のときこそ、
力を尽くす～日本商工会議所
会 頭 三村 明夫

明けましておめでとうございます。

2021年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年1月にわが国で初めての新型コロナウイルス感染者が報告されてから、早くも1年が経とうとしています。コロナ禍にあっても、今なお必死に経営努力を続けておられる皆さまに深く敬意を表するとともに、われわれ全国515の商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまと地域経済の発展のために力を尽くしてまいります。

さて、わが国経済全体は、緊急事態宣言が発令された昨年4-6月期のGDPがリーマンショック時を超える戦後最大の落ち込みを記録した後、7-9月期には持ち直しの動きへと転じました。しかし、秋以降に再び感染が拡大する中、その後の回復に向けた足取りは依然として重いままです。

一方、コロナ禍を通じて、政府・民間を含めた国全体としてのデジタル化の遅れ、過度な大都市集中のリスクと適切な地方分散化の必要性、危機下における医療提供体制のあり方、中央と地方の権限分担のあり方など、日本の多くの課題が浮き彫りとなりました。また何よりも「強く豊かな国でなければ国民を守れない」ということに皆が気付いたのではないのでしょうか。激甚化する自然災害、新たなパンデミック、地政学上の混乱等は今後も起こり得るものであり、わが国がそのような不確実性の中を生き抜いていくためには、不確実性を吸収できるバッファとしての「戦略的ゆとり」が不可欠であります。

昨年の菅政権発足以降、私は政府に対してこの「戦略的ゆとり」を持つ必要性、またそのためにも経済成長が欠かせないものであることを訴えてきました。経済成長は労働投入×資本投入×全要素生産性で定義されます。これまでの深刻な人手不足の中で、女性や高齢者など労働参加が大いに進みました。しかしさらなる労働参加率の向上には限界があり、将来不安により消費が伸び悩む中では国内での新たな設備投資による資本蓄積も多くは望みません。従って、わが国の経済成長のためには、残る「生産性の向上」が必須なのです。

一国の生産性は「一人当たりGDP」で表されますが、日本は2018年時点で世界第31位に甘んじています。「一人当たりGDP」は国民一人当たりの豊かさだけでなく、効率的に働き得られた余暇を人との繋がりに充てることで、幸福度を向上させる指標にもなることから、私はこれを日本の新たな国家目標に据え、その引き上げのために皆で知

恵を絞り、汗をかくべきだと考えます。

日本全体の生産性向上のために、商工会議所は、以下の3点に取り組んでまいります。第一は、コロナ禍への対応支援です。環境変化に対して、柔軟に素早く対応できることが中小企業経営者の強みであり、コロナを契機として新製品やサービス開発、業態転換、EC等も活用した国内外への販路開拓などに積極果敢に挑戦する経営者を、しっかりと後押ししてまいりたいと思います。

第二は、デジタル化を通じた生産性向上です。コロナ禍で初めてテレワークを体験し、デジタル技術の有用性に気付いた経営者も多いと思います。また、国や地方公共団体が今後デジタル化を進める中で、民間企業側もそれに対応していく必要があります。まずは身の丈に合った、低コストで利用可能なIT導入から始め、徐々にステップアップするなど、IT導入補助金等の支援策もフル活用し、中小企業のデジタル化を推進してまいります。

第三は、取引適正化です。大企業と中小企業が強固に結び付いた日本経済の強さは、大中小の石が組み合わさって風雪に耐える「石垣」に例えられてきました。しかし、その石垣も修復、再構築する時期にきています。サプライチェーン全体のデジタル化により効率性を高め、コストアップや付加価値をフェアに分け合い取引価格の適正化を図る「大企業と中小企業の新たな共存共栄関係」の構築が必要です。商工会議所は、この趣旨に賛同した企業による「パートナーシップ構築宣言」の宣言企業が1,000社を超えるよう、積極的に後押ししてまいります。

加えて、本年いよいよ開催が見込まれる東京オリンピック・パラリンピックを、復興五輪であると同時に、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる具体的なプロジェクトとして位置付け、国民運動を盛り上げていきたいと考えております。

最後に、近代日本資本主義の父であり、東京商工会議所初代会頭の渋沢栄一翁は、関東大震災の混乱の渦中にあっても「逆境のときこそ、力を尽くす」自らの信念によって、晩年であってなお、わが国を立て直すべく精力的に奔走されました。渋沢翁の意志を受け継ぎ、今年も日本商工会議所は全国のネットワークを最大限活用し、中小企業と地域の発展、日本経済の再生に向けて、先頭に立って頑張ってまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願いし、私の年頭あいさつとさせていただきます。

市長年頭のごあいさつ 「心が通う便利で 豊かな田舎暮らし」がつくる 新たな都市のかたち



舞鶴市長
多々見 良三

新年あけましておめでとうございます

去年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、日本国内においても、3月頃から急速に感染が拡大し、4月には緊急事態宣言が全国に発出されました。

本市も感染事例はありましたが、市民の皆様、市内各界の皆様のご協力により少人数にとどまっています。また、感染された方へのご配慮と「新たな生活様式」の徹底など冷静な行動へのお願いにご理解、ご協力いただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

現在、国は、検査能力の向上、ワクチンの早期確保などをはじめ、感染症対策に全力を挙げていますが、世界中に蔓延する新型コロナウイルス感染症を完全に克服するまでには、まだ一定の期間が必要です。今後、当面の間は、感染拡大の防止と経済活動を両立しながらまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

また、その先にある、感染症に打ち勝ち、乗り越える「ビヨンド・コロナ」の社会を築いていくためには、東京をはじめとする「3密」の状態でしか成り立たない都市を中心とする大都市集中型の社会から、重要な地方の拠点都市と大都市が連携し、共生、役割分担する地方分散型の社会を実現することが極めて重要となります。

そのような中、本市が推し進める、豊かな自然、連綿と引き継がれてきた歴史・文化「お互いさま」の精神が根付いた地域コミュニティや「京阪神」や「中京圏」などの大都市と適切な距離を保ちながら、つながることができる高速交通ネットワーク、産官学金労言士をはじめ、教育機関や民間企業などとの多様な連携を生かしたまちづくり「心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に向けた施策のさらなる推進が、まさに「ビヨンド・コロナ」社会において求められている地方分散型社会のモデルになる取り組みであると考えています。

昨年、日本交通㈱とオムロンソーシアルソリューションズ㈱(以下、OSS)と共に実施した、日本初となるバス、タクシー、住民同士の送迎を組み合わせた「共生型Maas」いわゆる「meemo」の実証実験は、今後、現在の交通サービスの維持・確保が困難になることが予想される中、将来にわたって地域の移動手段を確保するた

めには「今何をすべきか」を考え、高野地区、加佐地域の皆様と共に、試行錯誤を繰り返しながら取り組んだものです。

また、KDDI㈱、舞鶴高専、OSSとの連携によって雨量と河川の水位情報から河川の氾濫や浸水予測などをする研究と、これらの情報を皆様も見ることができるモニタリングシステムの整備の取り組みなどが評価され、国の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」の実証実験モデル自治体に、全国4自治体の一つとして選定されました。

地域の未来を担う子ども達に向けては、京都大学舞鶴水産実験所や日立造船㈱舞鶴工場などに協力いただき、海や魚などの自然科学について学ぶ教室や、実際に作っている工業製品などの制御盤の仕組みを使った電気工作体験、舞鶴高専出身者が起業したさくらインターネット㈱監修のプログラミング教室などを実施し、都会に出なくても次代の産業に触れ、学べ、仕事にできる環境づくりに取り組みました。

そのほかにも「ビジネス創出」「教育」など交流を起点とする地域活性の拠点として整備した「Coworkation Village MAIZURU」を活用した企業などとの多様な連携により課題解決に向けた持続可能な新しい地域成長モデルの構築を進めています。また、若手事業者が合同でこのまちに眠っている多くの魅力を発掘し、地域そして全国に発信するなど、まちづくりへの強い思いが大きく広がっています。

地域の皆様が、これからを考え、またその先の未来を見据え、次世代のために取り組むまちづくりが求められています。

市は、今後とも、多様な連携のもとに、先進技術を活用して、世代を超えた人と人とのつながりや助け合い、お互いを思いやる、すなわち「心が通う便利で豊かな田舎暮らし」を推し進めてまいりますので、本年も変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

知事年頭のごあいさつ

あした
夢や希望を持てる未来へ
上を向いて歩もう京都府知事
西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症によって、府民生活や社会経済活動がかつて経験したことのない甚大な影響を受けた年でありました。さまざまな困難の中、感染拡大防止にご協力を頂いているすべての府民の皆さま、事業者の皆さま、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類は長い歴史において幾度となく感染症の脅威にさらされながら、必ず乗り越えてきました。

「下を向いては、虹を見つけることはできない
～You'll never find a rainbow if you're looking down～」

これは世界の喜劇王、チャールズ・チャップリンの言葉です。コロナ禍を乗り越えた先にある、未来に夢や希望を持てる新しい京都に向かって、われわれは上を向いて歩んで行かなければなりません。そのための足元固めとして、医療・検査体制については関係機関の協力のもと、京都府が責任を持って対応してまいります。また、地域経済に活力を取り戻し、府民の皆さま

の生活と雇用をしっかりと守ってまいります。その上で、京都府総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、府民の皆さまが実感できる積極的な施策を推進し、全庁一丸となって取り組みをさらに加速させていく所存です。

いよいよ本年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が、翌年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催されます。人類が新型コロナを克服した証しとして大会を成功に導き、さらには2022年度中の文化庁の全面的な移転など、京都の持つ文化の力で、地域の隅々まで光が満ちるように元気な未来を築いてまいります。

本年は丑年。牛の歩みも千里と申すように、一歩一歩、力強く歩みを進め、成功を導く年とされています。地域に子どもたちの笑い声が響き、すべての府民が笑顔で過ごせる京都を実現するため、皆さまと共に歩んでまいりたいと願っております。

皆さまにとりまして、本年が健やかで幸多き一年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



謹んで新年のごあいさつを申し上げます

役員・議員・顧問(順不同・敬称略)

【会 頭】

小西 剛 小西商事(株)

【副会頭】

安達 久和 日本通運(株)
今安 茂也 (株)イマヤス
一盛 広樹 日本海警備保障(株)

【参 与】

瀬川 甫

【専務理事】

西山 隆成

【常務理事】

日置 正

【監 事】

松本 昭司 (株)まつもと米穀
佐藤 正典 (株)京都銀行東舞鶴支店
塩見 邦夫 (株)シオミ

【常議員】

松本 直樹 舞鶴倉庫(株)
嵯峨根仁史 弥栄電設工業(株)
櫻木 博 (株)アルスタ
志摩 敏樹 志摩機械(株)
植本 浩明 上杉教育機器(株)
岸田 正昭 田中産業(株)
佐古田政彰 (株)佐古田電機
田中 信男 舞鶴水産流通(協)
宮本 修吾 (株)エヌエスケイ
高井 盛作 (株)コザイ印刷所
近藤 修 ジャパンマリユナイテッド(株)舞鶴事業所
上林 喜寛 京都府漁業(協)
坂根 功一 (株)坂根工務店
安原 良一 京栄電材(株)
田中 正明 (株)田中製作所

江口 勲 ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
仲久保政司 京都北都信用金庫
大石 昌徳 関西電力送配電(株)舞鶴営業所
布野 勝也 日本板硝子(株)舞鶴事業所
江守錬太郎 江守石油(株)
北野 裕介 日立造船(株)舞鶴工場
久下 幸典 (有)幾久鶴
土井 博司 土井油糧(株)
西村 直紘 (株)西村住建商事
藤原 英樹 (株)藤善

【議 員】

上野 仁 (株)上野総合保険センター
仲東 博一 (株)エール
廣瀬 久哲 HRS総合研究所
大滝 雄介 (株)大滝工務店
齋藤 友幸 (株)霞月
河田 友宏 河田産業(株)
上西 克己 KANSAI税理士法人
安原真智子 (株)京栄電工
仲野 東 京都府信用漁業(協)連合会
西山 裕樹 (一社)京都舞鶴港振興会
鍋師 重則 (株)京綾貨物輸送
谷川 眞司 (株)共和堂
林 哲生 キリンパレッジ(株)京滋支社 舞鶴駐在
近江 喜彦 新日本海フェリー(株)舞鶴支店
高田 稔 (株)高田工務店
柿野 剛清 (株)田中工務店
長崎 實 長崎工業(株)
中田 芳邦 (株)中田アルナ
西村寿美子 (株)西村紙油商事
一守 敬介 (株)ニューオーサカホテルエンタープライズ
田中 久晶 (株)パシフィックウェーブ
深田 邦彦 (有)深田新聞舗
細井 正敏 細井工業(株)
藤元 達雄 舞鶴さかなセンター(協)
多田 佳史 (株)舞鶴浄美社
尾島 潔 舞鶴流通産業(株)

眞下 英夫 (株)ましも
伊庭 八郎 丸二金物(有)
南 房夫 南石油(株)
小谷 友子 (株)山下金物店
吉田 茂 吉田工業(株)
松本 芳弘 (株)アート
森 道明 アクサ生命保険(株)福知山営業所
波多野達也 飯野港運(株)
上原 正夫 上原正夫税理士事務所
志摩幹一郎 (株)ウッディーハウス
畑本久未子 (有)加寿美
吉永 豊一 (株)京都イングス
小山 剛 (株)こやま
尾関 善之 タイヨー電化
竹田 喜芳 タケダ工芸(株)
久富 慶亮 鶴美建設(株)
林 博之 (有)ハヤシスポーツ
松井 恭子 (株)東舞鶴グランドホテル
平野 功 (株)フクヤ
西 忠生 (株)平和熔工所
堀口 宏之 (株)ホリグチ
辻 義雄 舞鶴かまほこ(協)
三方 圭一 (株)舞鶴ホンダ
福長 尚斉 (株)丸福産業
江波 明 (株)エナミ精機
朝比奈達治 日本通運(株)舞鶴支店

【名誉議員】

山雄 堯之 元副会頭
田中 康弘 元副会頭

【顧 問】

多々見良三 舞鶴市長
山本治兵衛 舞鶴市議会議長
池田 正義 京都府議会議員
小原 舞 京都府議会議員

機械金属部会

田中正明

JMU舞鶴事業所の新造船撤退と新型コロナウイルスの影響で、未曾有の危機を迎えています。部会員の知恵で、地域産業の衰退を食い止め、乗り切るために頑張ります。

建設部会

坂根 功一

コロナ禍の早期収束を願いますとともに、地域経済が元を取り戻すように努力して参ります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

製造部会

小山 剛

コロナの影響で地域経済が疲弊する中、現状を見据えた新たな考え方や、行動が必要となってきました。今こそ、しっかりと次なる一步を踏み出せるよう取り組んで参りたいと考えます。

商業部会

久下 幸典

経営者は、心を整え、頭を柔らかく、変化と進化を遂げるのみ。今年も様々な学びの場や企画を提案します。「自社らしさ」を磨き、コロナに負けないお店を目指しましょう。

情報サービス部会

竹田 喜芳

一刻も早いコロナ禍の終息を願い、部会員の皆様と各種勉強会や情報交換を通じて舞鶴の発展に繋がるよう努めて参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

交通運輸・港湾部会

松本 直樹

昨年は未体験の事象への対処に当り、多くのことを学ぶ年となりました。本年も厳しい舵取りを求められることとなりますが、皆様と共に的確な事業活動を遂行していきたいと存じます。

食料品・水産部会

田中 信男

昨年はコロナの影響により、世界的に未曾有の危機といった年でした。本年は牛のように一步一步力強く、官民一体で業界の垣根を超えて一致団結し、この難局に立ち向かいます。

金融・理財部会

仲久保政司

ウィズコロナ、アフターコロナを乗り切るため関係機関との連携を深め、単に資金の供給に止まらない多面的な活動に力を尽くして参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

料理飲食部会

畑本 久未子

昨年はコロナで不安と混迷に直面して世界中が元気をなくしました。しかし多くの教訓を得て、未来に向かう糧となり、新年はコロナと共存しながらの新たな幕開けとなりました。

環境サービス部会

福長 尚齊

世界の変化に戸惑い試練の多い年と思います。この変化をチャンスと捉え部会が一丸となって進化できる創意工夫の一年にしていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

総務委員会

嵯峨根仁史

丑年は忍耐と努力の年と言われます。コロナ禍の猛威が押し寄せる今、先を急がず目の前の事を着実に進める事が成功に繋がります。忍耐強く黙々と道を歩んで成果を上げましょう。

政策提言委員会

植本 浩明

厳しい社会情勢の続く中、舞鶴が持続的かつ確実な発展をするにはどうすべきかを委員一同、知恵を出し合っています。皆様、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

産業振興委員会

坂根 功一

コロナ後の世界はどうなるのでしょうか。もしかすると地方の時代が来るかも知れません。若者が定住でき、シニアが戻って来れる魅力ある地域経済を目指して取り組んで参ります。

観光振興委員会

高井 盛作

コロナ禍の今、観光振興は新たな局面として、感染症対策に注力し信頼のある観光地を目指すと同時に、質の高い観光資源が求められています。皆様のご協力をお願い致します。

自衛隊委員会

安原 良一

自衛隊との良き関係を維持し、地方創生と地域活力強化に取り組めます。相互の交流と親睦を更に図り、より一層、まちへの誇りと愛着を高め、地域活性化の一翼を担ってまいります。

会員サービス委員会

松本 昭司

新型コロナ一色の一年でした。会員の皆様の事業発展に当委員会をご利用頂き従業員の福利厚生の上に取り計らってください。永年勤続表彰と同封チラシサービスをご利用ください。

青年部

江波 明

舞鶴YEGは、2月に40周年記念事業を予定しています。コロナ禍の状況ではありますが、メンバーが有意義に過ごせる会の運営を目指します。

女性会

加茂前都美子

社会の変化に女性の柔軟な発想と創意工夫で取り組み、健康第一で社業と地域繁栄に努めてまいりたいと思います。本年も皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

12月2日 交通運輸・港湾部会が講演会を開催 京都舞鶴港の将来計画 — 三島府港湾局長から学ぶ

交通運輸・港湾部会（部会長：松本直樹舞鶴倉庫㈱取締役会長）は、12月2日赤れんが3号棟で「舞鶴港港湾計画の現状とこれからの課題について」をテーマに講演会を開催しました。

日本海側拠点港の京都舞鶴港は、取扱貨物量の増加を背景に、港湾整備の重要性がますます高まっています。このような中、今後の整備予定に関する全体計画については、部会員の中でも大変関心が高い内容であったことから、三島理京都府港湾局長を講師に実施したものです。

講演会には、松本部会長をはじめ19人が参加。三島局長には、「港湾計画は、通常10年から15年先の港湾の利用状況を見込んで立てられる」といった計画立案に関すること、国際ふ頭や臨港道路を含めた整備計画についてもイメージ図を交えながらお話しいただきました。

参加者からは、「港湾整備の効果は、府内や市内だけのものではない。舞鶴港は、まさに日本海側ゲートウェイであり、関西経済圏にも影響を与える」といった声が聞かれるなど、港の未来について理解を深めることができました。



Coworkation Village MAIZURUで開催（12月2日）

高浜発電所の再稼働 舞鶴市議会へ請願書を提出

舞鶴商工会議所は、高浜発電所の1、2号機の再稼働について、12月3日舞鶴市議会議長に「請願書」を提出しました。

高浜発電所の再稼働については、昨年11月に国が京都府と舞鶴市を訪れ、再稼働について理解を求めめるための説明が行われたり、高浜町議会では正式に再稼働を決定したりするなど、動きが具体化しつつあります。

舞鶴市内には、会員企業を中心に高浜発電所の関連

企業は数多くあり、働かれている市民も2,000人近くおられるのも事実です。また運転については、関係法令に基づいて、平成28（2016）年に認可され、新規制基準に即した対策工事についても1号機は昨年9月に完了。2号機も今年4月の完成予定となっています。このような状況を踏まえ、正副会頭を中心に対応を協議した結果、市議会12月定例会で「請願書」を提出したものです。

京都府に「商工施策要望」 12月9日綾城局長と面談

舞鶴商工会議所の最重要事業である行政への「商工施策要望」については、11月30日の舞鶴市に続き、12月9日には京都府への要望を行いました。

午後3時に瀬川参与、西山専務理事、日置常務理事が京都府中丹広域振興局を訪ね、綾城局長、和久

農林商工部長、山口参事と面談。52項目121件の要望内容について、その背景や理由など趣旨を説明するとともに、西脇隆俊京都府知事への伝達を依頼しました。

これを受けて綾城局長からは、「JMUについては重要課題として、国に対し要望する予定。他の項目についても西脇知事にしっかりと伝えます」と返答がありました。

「事業計画策定セミナー」を開催 “変化に対応していく” 計画のつくり方

新型コロナウイルスの影響により、事業の先行きが見通せない状況になっています。“市場や顧客ニーズの変化”を捉え、業績につなげていく計画のつくり方を学びます。個別の相談会も開きます。

事業計画策定セミナー

日時 1月28日(木) 午後2時30分～4時30分
場所 舞鶴商工会議所
講師 山本容子氏(㈱オフィスやまもと代表取締役)
定員 20人(先着順) **参加費** 無料

個別相談会

日時 2月2日(火)・2月4日(木)
 いずれも午後2時30分～5時30分
 (小規模事業者限定で1社1時間程度)

【申込方法】

申込書(窓口にあります)に必要な事項を記入し、Faxか窓口でお申し込みください。舞鶴商工会議所のホームページからも可能。

締め切り いずれも1月22日(金)

〇問い合わせ

舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600 Fax 62-4933)

「生産性向上セミナー」の開催 生産性高める“段取り力”向上を

社員が“仕事を段取りする力”を身に付けると企業の生産性や品質、信頼性の向上につながります。この講座では、“段取り力”を身に付け、向上させる手法を習得します。

日時 2月19日(金) 午後2時～4時
場所 舞鶴商工会議所
テーマ “段取り力”向上の手法
講師 岡本文宏氏

(メンタルチャージ I S C 研究所(株)代表)

対象 小規模事業者、中小企業者
 (創業予定者も参加可能)

定員 20人(先着順)

受講料 舞鶴・綾部商工会議所の会員事業所：無料
 非会員事業所：2,000円

締め切り 2月15日(月)

【申込方法】

舞鶴商工会議所の窓口にある申込書に必要な事項を記入し、Faxか直接窓口、または、ホームページからお申し込みください。

〇問い合わせ

舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600 Fax 62-4933)

「春のまいづる就職フェア」 —参加事業所を募集します—

受け付けは1月14日から開始

「春のまいづる就職フェア」の参加事業所を募集します。

申し込みは1月14日(木)から29日(金)まで受け付けます。手続きについては「舞鶴・企業就職応

援ネット」ホームページの申込用紙をダウンロードしていただき、必要事項等を記載し舞鶴市産業創造・雇用促進課へ必ずFax(62-9891)で送信してください。

「まいづる就職フェア」の概要

開催日 3月6日(土) 午後1時～4時
会場 舞鶴市商工観光センター
募集数 50社(先着順)

〇問い合わせ 舞鶴市産業創造・雇用促進課 (Tel 66-1021)

INFORMATION インフォメーション

新春経済講演会



テーマ

**2021年
日本経済は
どうなるのか**

講師

経済ジャーナリスト
内田 裕子 氏

日時 **令和3年1月29日(金)**

午後1時30分～3時

場所 舞鶴市商工観光センター (5階コンベンションホール)

定員 150人(先着順) ○参加無料

(新型コロナウイルス感染防止対策により、定員は収容可能人数の約半数とします)

申込方法 申込書(窓口にあります)に必要事項を記入し、舞鶴商工会議所の窓口にお持ちいただくか、Fax、郵送、ホームページでお申し込みください。

締め切り 1月27日(水)

主催 舞鶴商工会議所・舞鶴市

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600 Fax 62-4933

優良従業員表彰式

推薦書は1月20日まで受け付け

「第67回優良従業員表彰式」の被表彰者を1月20日(水)まで受付中です。申し込みは、舞鶴商工会議所窓口で直接お願いいたします。

表彰基準 会員事業所で次の要件に該当する人

- (1) 勤続30年、20年以上全力を尽くし職務に取り組み、事業所の発展に大きく貢献した人
- (2) 勤続10年、5年以上誠実に職務に努め、他の

従業員の模範となる人

被表彰者区分と事業所負担金

表彰区分	30年以上	20年以上	10年以上	5年以上
負担金額 (税込み)	8,000円	6,500円	4,500円	4,500円

「優良従業員表彰式」の概要

日時 **2月18日(木)** 午前10時～11時
場所 舞鶴商工会議所ホール

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

近畿能開大京都校の入試案内

“ものづくり”を支える技術者の養成にご協力ください——近畿能開大京都校の入学試験は次のとおりです。

学科と試験日

- 生産技術科・電子情報技術科 — 2月4日(木)

- 情報通信サービス科 — 2月4日(木)
3月16日(火)

なお、このほか自己推薦入試は3月16日(火)に実施。また、事業主推薦入試については3月11日(木)まで随時受け付けています。

問い合わせ 近畿能開大京都校(学務援助課学務係)
Tel 75-7609

令和2年度 検定試験の日程

〈会場は舞鶴商工会議所〉

※珠算検定・簿記検定の申し込みは舞鶴商工会議所へ

[珠算]

施行回数	試験日	申込期間	級
第221回	2月14日(日)	1/7(木)～1/19(火)	1～3
受験料	1級 2,340円 2級 1,730円 3級 1,530円		

[簿記]

施行回数	試験日	窓口申込期間	ネット申込期間	級
第157回	2月28日(日)	1/14(木)～1/28(木)	1/14(木)～1/25(月)	1～3
受験料	1級 7,850円 2級 4,720円 3級 2,850円			

今後の検定試験スケジュールは次のとおりです。新型コロナウイルス感染症の状況によって、内容の変更や中止になることがあります。なお中止の場合は、舞鶴商工会議所のホームページで随時お知らせします。